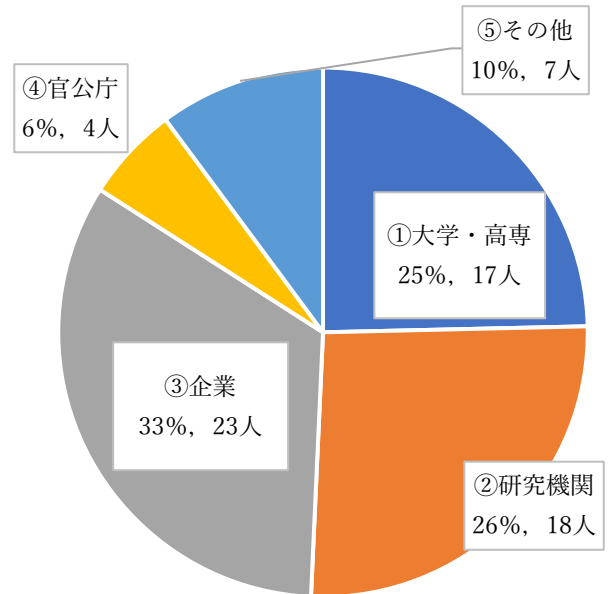


第4回レジリエンス研究教育推進コンソーシアムシンポジウム アンケート集計結果

- 日時／場所：2021年10月13日（水）13：30～16：40／オンライン（Zoom ウェビナー）
- 参加者数／アンケート回答者数：151名／69名（回収率45.7％）

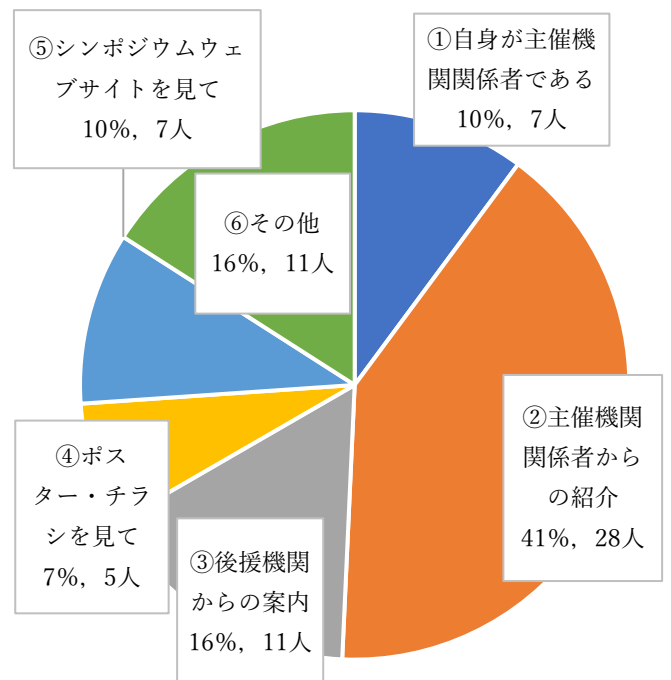
Q1. ご自身の所属機関等について教えてください。（N=69）

① 大学・高専	17
② 研究機関	18
③ 企業	23
④ 官公庁	4
⑤ その他	7
合計	69



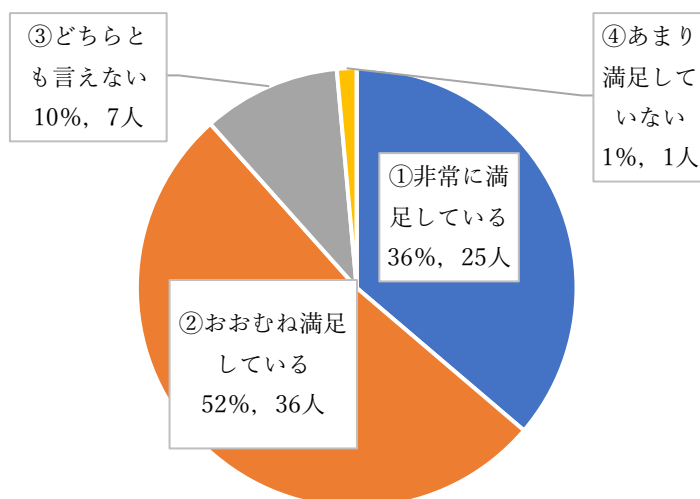
Q2. 本シンポジウムをどのように知りましたか。（N=69）

① 自身が主催機関関係者である	7
② 主催機関関係者からの紹介	28
③ 後援機関からの案内	11
④ ポスター・チラシを見て	5
⑤ シンポジウムウェブサイトを見て	7
⑥ その他	11
合計	69



Q3. 本シンポジウムの満足度について教えてください。(N=69)

① 非常に満足している	25
② おおむね満足している	36
③ どちらとも言えない	7
④ あまり満足していない	1
⑤ まったく満足していない	0
合計	69



Q4. 講演①「コロナ禍における健康リテラシーと政策、世論、及び住民行動との関係」(講演者：久野譜也氏)について、ご意見・ご感想を自由にお書きください。(N=23)

(回答者所属機関別)

● 大学・高専

・あらためて都市計画行政と健康福祉行政の連携の必要性を再認識しました。
・インフルエンサーの育て方、役立て方等、勉強になった。
・町が閑散としている背景や解決策に健康という関係を実感
・非常に広範囲の連携が必要であることが分かり、とても勉強になりました。

● 研究機関

・メンタルヘルスを対象にした場合は、インフルエンサーの具体的な役割は誰になりますか？
・車社会の悪癖を感じました。健康意識を改めて高めたいと思います。ありがとうございました。

● 企業

・「リテラシーをいらずに高めるのではなく、意識しなくても（無関心でも）環境として歩かざるを得ない健康都市づくり」について、いま防災の世界で課題になっていることを健康の分野でいち早く課題解決されてきたのだと感銘を受けました。
・①のみ聴講いたしました。久野先生が警笛を鳴らしているコロナ禍による社会問題、もっと認知を広げるべき題材です。勉強になりました。ありがとうございます。
・コロナは後遺症ばかり報道されるが、通常健康にいかに関与しているかに気づかされた。
・コロナ禍と健康に関するデータは、初めて見ました。まちづくりと健康の関係もデータから見ていく必要を感じました。
・とてもよい講演でした。
・まち・運動・健康、大変勉強になりました。
・業務の関係で拝聴できませんでした。後ほど配信いただいた資料を拝見して学びたいと思います。
・健幸インフルエンサーの取り組みは大変面白いと思いました。コンパクトシティを健康の視点から

考える（ウォーカブルシティなど）も大変良い取り組みだと思いますが、少子高齢化の時代に、地方の活性化とどう結びつけるのか、財源は確保できるのか、といったことをもう少し知りたいと思いました。例えば健康寿命が延びれば介護や医療の費用が減るので財源は確保できる、といったことがあるのでしょうか。

- ・実際の住民行動に即した関係性の課題というものを大変よく理解できた
- ・新しい知見が多く得られて、非常に有益でした。ありがとうございました。
- ・同調圧力に関する話ですが「世間」と「あんしん」が深く関わっているものと考えます。上記に関する「ご参考」の小論です。

https://www.jnsa.org/jnsapress/vol39/2-1_kikou.pdf

https://doi.org/10.32230/jssmjournal.34.3_3

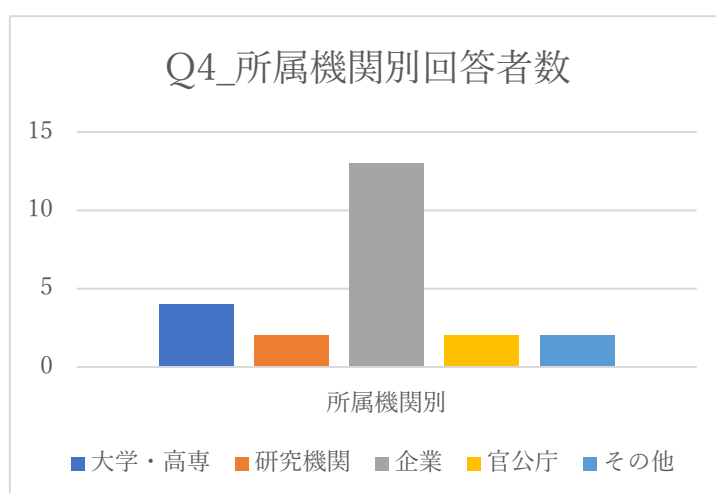
- ・日本人のリテラシーの低さについて前々から気になっていましたが、歯切れのよい説明で納得しました。どのようにリテラシーを向上させられるのか、今後の課題だと思います。なお、国の政策は愚民政治なのではないかとも感じております。分かり易い説明でした。
- ・分析の視点が興味深かった。コロナ自体のリスクが注目される中、その周辺との関連性に着目している視点が新鮮だった。

● 官公庁

- ・結局のところ、交通手段の環境（無意識な運動負荷）により未来の健康状況が変わる。
- ・高齢者の ICT リテラシー向上は当方にとってアフターにおける一番の課題であり、あらためて問題の重要性が認識できました。

● その他

- ・情報が届きにくい人に伝える活動を戦略的にされていることに感銘を受けました。有難うございます。
- ・糞に懲りて膾を吹く、の状況は、いつも繰り返されます。ゼロリスク神話からの脱却が鍵なのでしょう。多くの方が、他者の健康リスク低減の当事者になることですかね



Q5. 講演②「コロナ禍で見てきた情報社会インフラの姿とスマートシティへの適用について」(講演者：田中淳裕氏) について、ご意見・ご感想を自由にお書きください。(N=17)

(回答者所属機関別)

● 大学・高専

・スマートシティのプラットフォームの考え方、非常に勉強になった。
・とても勉強になりました。
・仮想化技術の意義について少し理解できました。
・多くの個人情報が、あちこちに分散していることのメリットとデメリットがある

● 研究機関

・緊急事態、マンボウ、平常時の過渡期での優先指標・制約条件の設定は、時空間的にスムーズに行えるのでしょうか？
・特にありません。ありがとうございました。

● 企業

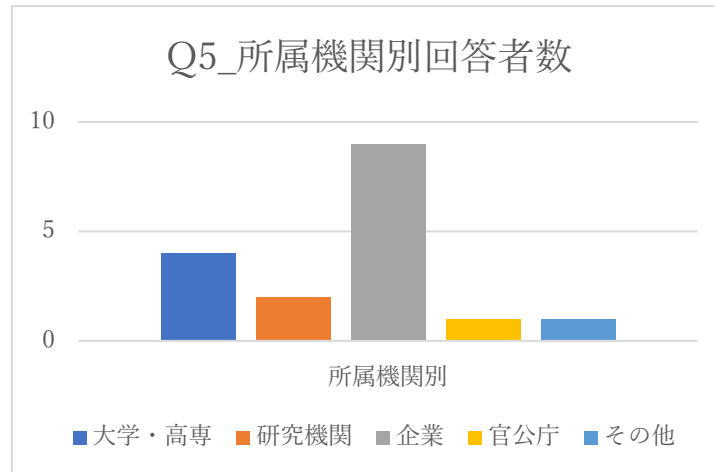
・アフターコロナを見据えたスマートシティ、という軸が興味深かった。
・スマートシティ、スーパースティなど様々な言葉があるが、「そもそも」がよくわかっていない。
・スマートシティに対する期待感のみならず課題がよく分かった
・業務の関係で拝聴抱きませんでした。後ほど配信いただいた資料を拝見して学びたいと思います。
・新たな観点からの見解が得られて、非常に有益でした。ありがとうございました。
・都市 OS に関するヨーロッパのお話を伺えたのが良かったです。デジタル技術のプラットフォームはデファクトスタンダードに収束していくのが常かと思いますが、複数ある方が強靱であるというのは疎の通りかなと思いました。日本初の技術でスタンダードを築けるとよいと思いました。
・都市 OS の話が興味深かったです。FIWARE についてググりましたが、よくわからなかったのもっと詳しく知りたいなあと思いました。
・内容が十分に理解できませんでした。
・日本ではデジタルの GtoC は心理的な壁が厚い気がしますが（個人的にもそうです）、防災など受け入れやすい分野から浸透していくのではないかと思います。

● 官公庁

・異なる組織間のデータ共有は本当に重要だと思いますが、個人情報保護で動きづらい点が多々ありますので、その辺の法整備も重要だと痛感しました。

● その他

・SIP4D もですが、うまくやれば社会が変わるのですが、厚労省のアプリは残念ですね。政府の入札システムの課題のようにも思います。



Q6. 講演③「ニューノーマルで変わるデジタル防災技術」（講演者：臼田裕一郎氏）について、ご意見・ご感想を自由にお書きください。（N=18）

（回答者所属機関別）

● 大学・高専

- ・とても勉強になりました。
- ・ニューノーマルという語はこれまでよく聞きましたが、レジリエンスと関連づけて捉えられたことが新鮮でした。
- ・組織（自治体）同氏の情報の共有化が出来ていない（できにくい）という現状が良く分かった。
- ・防災については、個人情報の過度な保護が邪魔していることが多い

● 研究機関

- ・興味を持ちました。具体的な事例の話が多くあるとより参考になったと思いました。
- ・災害時の情報共有の有用性が解りました。ビルドアップベター、勉強になります。ありがとうございました。
- ・災害時の情報社会の堅牢性について、より考えてみたい。

● 企業

- ・CPS4D という技術が、個人や地域レベルでも生かせるようになると、非常に実用的だと感じました。また、ニューノーマルはビルド・バック・ベターと同じだと聞き、腑に落ちました。
- ・SIP4D による様々な組織の情報をつなげられることに驚きました。ぜひ活用していきたいと思います。
- ・あちらを立てればこちらが立たずの相互作用の中で中断なく意思決定し続ける人間の負荷が大きく、少しでもシステムで補助できる世界を実現していきたいと改めて思いました。
- ・これからの防災技術について考えさせられました。ありがとうございました。
- ・コロナの影響をさまざまな角度から捉えることができた。
- ・デジタル防災の最新状況を理解できた
- ・ノーマルと非常時からニューノーマルを定義するのは新鮮だった。
- ・大変解りやすい素晴らしいご講演を拝聴しました。ありがとうございました。
異なる組織間の情報共有の仕組み・・・素晴らしいと思います。情報共有の先・・・状況認識を行っ

た上での行動の調整が次なるターゲットであるように思います。

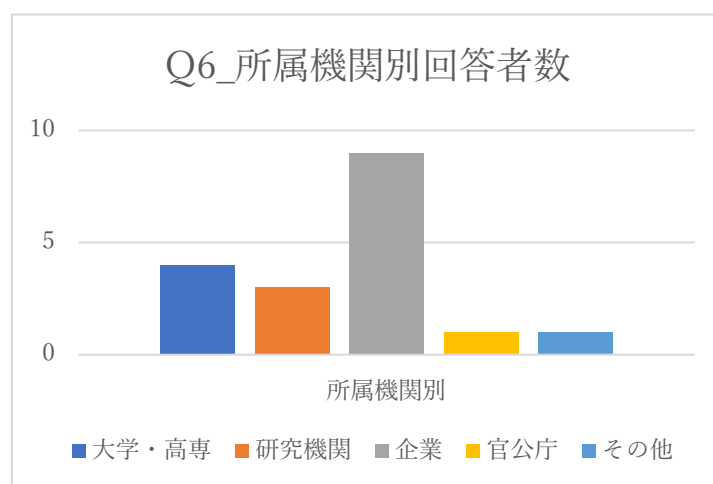
・内容が表面的だと感じました。

● 官公庁

・避難所収容シミュレーションは自治体のみならず町内会単位で気軽に活用できるようにどんどん進めてほしいと思いました。

● その他

・できるだけ、前向きに考えようとする臼田さんだから、なのですね



Q7. パネルディスカッション「ニューノーマルに抛るレジリエンス社会の実現に向けて ~COVID-19 がもたらした気づき~」について、ご意見・ご感想を自由にお書きください。(N=18)

(回答者所属機関別)

● 大学・高専

・レガシーのある日本において、初動が遅れてしまうのはしょうがないが、それを生かしたシステム設計というのは良い気づきになったと思いました

・特にありません

・日本社会を情報システムのネットワークとして構築していくことの必要性、その逆の危険性など考えさせられました。統一性と多様性の両立は可能なのでしょうか。

● 研究機関

・特にありません。

・面白かった。

● 企業

・まだコロナ禍は終わっていませんが、皆で考え続けていかなければならないと痛切に感じました。

・メディアについて言及されていましたが、メディアといっても様々で、テレビでも「報道」と「ワイドショー」は違いますし、インターネットでもヤフーコメント欄など匿名の意見がメディアとして

力を持ち始めています。メディアの影響を語る際、メディアの特性ごとに影響を考えると、議論が深まるのではないかと感じました。

- ・モデレータの遠藤先生の話の持っていくかたがとても上手で、聞いていて楽しかったです。大変勉強になりました。臼田先生のポジティブに考える態度は今日から取り入れたいと思いました。日本式のイノベーションに貢献できるとよいと思いました。頑張ります。

- ・遠藤先生の素晴らしい指揮展開で議論が深まり、自身の理解も深まりました。「日本では何故にイノベーションが起こりにくいのか・・・」「日本社会特有の同調圧力・・・」この辺りの話から、「日本式イノベーションの方法である可能性」の話に至るあたり・・・、大変参考になりました。ありがとうございました。

- ・参考になりました。ありがとうございました。会議が入ってしまい途中までしか聞けなかったのですが、今度ログか何かを共有いただけるのを楽しみにしております！

- ・感染症対策までを考えなければならない時代になったことでニューノーマルがノーマルになるのだと感じた

- ・個人情報保護法との関係についての議論がなかった。進行がやや場当たりのであった。

- ・残念ながら、途中退室したため聞けなかった。

- ・幅広い議論が面白かった。マスコミからデジタル庁まで、あまりレジリエンスには？という部分もあったが面白かった。

- ・未聴講

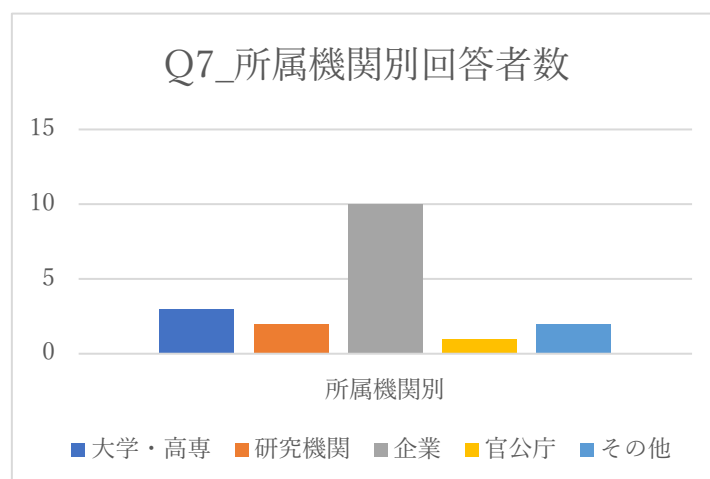
● 官公庁

- ・臼田先生のやる気がある人から段階的に増やしていくという考えのもと地道に頑張っていきたいと思います。

● その他

- ・＊災害が起こったとき、究極は対面での人と人のつながりだと思います。
- ・＊コロナ騒動では、まず、正確な情報が伝わらなかった（伝えなかった）のが最大の問題だと考えます。感染阻止のための行動指針が絞り過ぎたり（3密回避：3密でなくとも、密接な会話で感染は広がる）、網を上げ過ぎたり（外出自粛：感染を防ぐ行動を確実にすれば、外出自体は問題なし）でした。感染を防ぐための「最小の完全セット」の対策を政府や自治体が発すべきでした。

- ・日本型イノベーションは、動き出すと止めにくいので、日頃からよく考えておくことが大事



Q8. 全体を通してのご意見・ご感想や、次回以降取り上げてほしいテーマ等があれば、自由にお書きください。(N=13)

(回答者所属機関別)

● 大学・高専

・温暖化と食料安全保障
・上記、7であった初動が遅れてしまうが、それを生かした日本型システム設計という点で講演があれば、聞いてみたいと考えております。
・特にありません。

● 研究機関

・災害時の状況がどの程度をイメージしているのか、明確でなかったようである。
・思っていた内容とは少し違っていました、刺激を受けました。
・特にありません。

● 企業

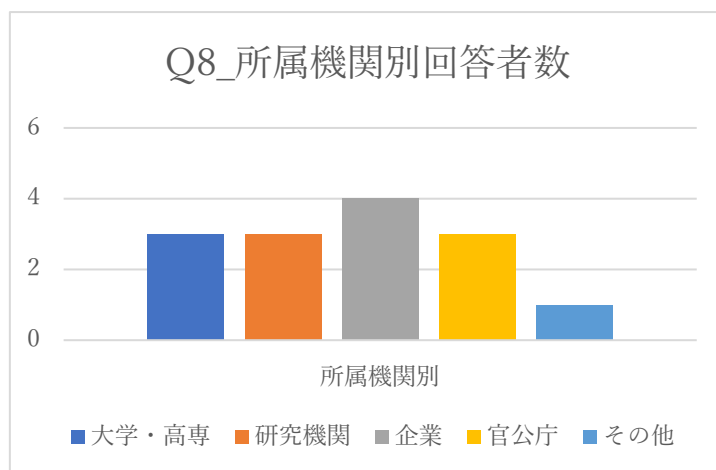
・自分の知識レベルでは少し難しい内容のシンポジウムでした。組織のレジリエンスを高めることに興味があり、事例を多く紹介いただけるような企画を希望します。
・初めて拝聴しました。素晴らしかったです。沢山学ばせていただきました。感謝申し上げます。
・非常に有益でしたので、また COVID-19 に関する続編を希望します。

● 官公庁

・ニューノーマルの構築に向けて、情報伝達の重要性や地域のインフルエンサーの役割が指摘されていたが、今日、共助の原点となる地域コミュニティが崩壊の危機に瀕していることも強く関係しているように感じた。大変興味深く聴かせていただきました。ありがとうございます。
・高齢者の ICT リテラシー問題は引き続き深掘りして聴きたいです。
・大変よい企画に参加させていただき、ありがとうございました。

● その他

・質問に対しお答えいただき、ありがとうございました。聞き洩らした点もあり、できれば後日文章でいただけるとありがたいです。
--



Q9. 今後、参加時にご登録いただいたメールアドレスにシンポジウム・セミナー等のご案内を差し上げてよろしいですか。(N=69)

① 希望する	54
② 希望しない	15
合計	69

